

氏名	善生 まり子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	1991年北里大学看護学部、1999年北里大学大学院 看護学研究科 修士課程(健康看護学)、2017年北里大学大学院 看護学研究科 博士後期課程(看護生涯教育学)				
経歴	1991年学校法人北里研究所北里大学東病院消化器外科(看護師)、1992年富士宮市役所保健センター(保健師)、1996年秋田市医師会立秋田看護学校(専任教員)、1997年秋田大学医療技術短期大学部看護学科(助手)、1999年学校法人北里研究所北里大学東病院 治験管理センター(看護師:非常勤)、保健同人社 電話相談(保健師:非常勤)、2001年公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科(助手)、2005年同大学(講師)、2014年同大学(准教授)				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本在宅ケア学会、日本老年看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本認知症ケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本看護学教育学会、日本看護学会				

### 【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	地域でできる高齢者のフレイルチェックとその予防	単著	あり	埼玉の福祉広報「S・A・I」埼玉県社会福祉協議会、4、4	善生まり子	2019.7
2	ベルギーの看護師養成にかかる高等教育システム	共著	あり	看護展望、44(11)、1093-1099	善生まり子, Julie Vanderlinden, 中村Thomas裕美	2019.10
3	Structure of Nursing Practice Implemented by Discharge Planning Nurses in Support During Transition to Homecare; Focus on Multidisciplinary Professional Case Conference Settings	単著	あり	Journal of Comprehensive Nursing Research and Care, 4(2), DOI 10.33790/jcnrc1100154	Mariko Zensho	2019.11
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	長期にわたる骨粗鬆症と転倒予防の互助活動が高齢者にもたらす介護予防効果	単独	日本看護科学学会第39回学術集会、金沢市	○善生まり子	2019.12	
2	住民が自主的に運営する骨粗鬆症と転倒の予防教室の長期的効果	共同	日本骨代謝学会第37回学術集会	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、村田健児、善生まり子、内山真理、萱場一則、廣瀬圭子、荒木智子、遠藤直人	2019.9	
3	フレイル予防に取り組む高齢女性のヘルスリテラシー	共同	日本サルコペニア・フレイル学会第6回学術集会、新潟市	○善生まり子、藤縄理、菅野康二、久保田亮、中村裕美、菊本東陽、森鍵祐子、小原弘子	2019.11	
4	地域高齢女性におけるフレイル予防の体験型グループ学習効果	共同	日本看護研究学会第45回学術集会	○善生まり子、森鍵祐子	2019.7	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	第55回(2019年度)明治安田こころの健康財団研究助成		障がいのある児・者と家族の健康と暮らしの多様性を支える社会的ネットワークの構造:地域社会とのつながり・仲間づくりに関する自助・互助の課題	研究代表者	2019.7~2020.6	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅲ(高齢者と地域)	○	8	老年看護学実習Ⅱの体験のリフレクシオンを通して地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を教授し、webclassによる自己学習を充実させた。高度看護専門家のゲストスピーカー2名を招き、認知症高齢者と家族のドキュメンタリー映画「毎日がアルツハイマー2」を学習教材とした。
2	老年看護援助論 博士前期課程		2	高齢者の退院支援と在宅支援に関する看護職の専門性(実践課題)や研究課題について教授した。
3	在宅看護学特論 博士前期課程		2	在宅移行期の退院支援に関する看護職の専門性(実践課題)や研究課題について教授した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅱ(高齢者と家族)		8	科目担当者として、看護過程の展開のグループワーク、講義(援助のリフレクシオン)、実技演習(清潔援助)に関わった。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学実習Ⅰ		2019.4~2019.5	科目担当者として、老人福祉センターにて、学生が健康・元気な高齢者の対象特性を理解し、コミュニケーションがとれるよう指導した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2019.10~2019.12	科目担当者として、回復期リハビリテーション病棟に入院している高齢患者や看護の特性が理解し実践できるよう臨地実習指導者と共に指導した。
3	総合実習		2019.4~2019.8	地域包括ケアシステム下において、認知症をはじめ要介護高齢者への看護実践および回復期リハビリテーション病棟での入院環境を整える看護実践について学びを深めるため5回のゼミを実施し、病院実習指導、報告会の指導や講評を実施した。
4	IPW実習		2019.8~2019.10	特別養護老人ホームを担当し、施設ファシリテーターのサポートを受けながら、5学科の学生5名が利用者のケアプランや支援の目的について十分検討し表現できるよう助言し環境を整えた。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4~2020.1	主指導 5名	副指導 名
2	修士論文	2019.4~2020.2	主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	メディカルピア草加病院看護研究	メディカルピア草加病院	看護研究指導	2019.4~2019.7、2020.1~2020.3
2	2019年度看護学生実習指導者講習会	埼玉県看護協会	老年看護学実習の展開	2019.6
3	2019年度介護支援専門員更新・専門研修	埼玉県社会福祉協議会	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	2019.7
4	2019年度越谷市シルバーカレッジ	越谷市	介護予防って何だろう?	2019.7
5	2019年度上尾市見守りネットワーク全体会	上尾市	地域におけるフレイル対策・高齢者を地域で見守るためにできること	2019.11
6	埼玉県看護協会第9支部看護研究発表	埼玉県看護協会	看護研究発表講評	2019.11

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	草加市	草加市男女共同参画審議会	2019.4～2021.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	草加光陽育成会(草加市の障害児者の親の会)	6月に開催された第7回 5市1町体育祭「草加パリポリレクリエーションの集い」(障がい児者)に学生ボランティアの調整を支援した。本学看護学科4年次生4名の参加があった。	2019.4～2019.6
2	地域貢献活動	地域高齢者自主グループ「骨粗鬆症と転倒予防教室」支援活動(さいたま市、春日部市)	3つの自主グループ(各約20名)について、健康情報の提供や座談会を通して活動支援を行った。	2019.4～2019.6
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員		2019.4～2020.3
2	学科等における委員会等	看護学科総務委員		2019.4～2020.3
3	学科等における委員会等	看護学科実習計画調整委員		2019.4～2020.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス 教員相談		2019.8
5	大学広報活動	キッズマネーアカデミー 講師		2019.8
6	大学広報活動	20周年記念式典 案内班		2019.5
7	学科等における委員会等	看護学科臨地実習指導者協議会の企画・運営		2019.4～2019.9
7	学科等における委員会等	看護学科臨地実習指導者研修会の運営		2020.1
7	学科等における委員会等	看護学科3, 4年履修モデル別交流会企画・運営(臨床看護系、公衆衛生看護系)		2019.4～10
8	学科等における委員会等	3年担任 学生への定期的及び必要時の個別面談(就職支援、学生生活の相談、人間関係、履修相談等)		2019.4～2020.3
9	学科等における委員会等	卒業生の学会発表(1名)、研究活動支援(1名)		2019.7～2020.3
10	学科等における委員会等	担任として、学生3名について、特別に複数の個別面談を行った。内訳は履修の問題2名、学生同士の間人間関係の問題1名であった。その内1名は、3年の履修科目のうち8科目の科目責任者の教員と連絡を取り合い履修指導等を行い、合理的配慮申請をサポートした。		2019.7～2020.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				